



会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所
松本県ヶ丘高校東京同窓会
〒100 東京都千代田区
大塚町2-6-2日本ビル6F
TEL 03-3279-2771(代)
発行人 森山 修二

第24回東京同窓会開催実行委員長 小林 勁

ここに伝統ある第24回の総会を開催できず事、非常に喜ばしく、実行委員をはじめ、幹事の諸先輩、同窓生の多数に御協力を戴きました事心から厚く御礼申し上げます。

月日が流れ、星は移り、世は変われども、今日の我々の礎となつてゐる県陵時代……。伝統あるこの県陵精神をここに温め、次の代に伝承する責任と誇りを感じるものであります。ま

さに県陵応援歌、信濃健児、そのものであり、当番幹事の責任者として、訪いくる人に最上の時を……出逢い、そしてもてなしの粋……でと。

就任ごあいさつ



会長 大澤 清重
(中13回)

松本県ヶ丘高校東京同窓会

昨年の総会において永年ご指導をいただきました大先輩根本会長のあとをついで、本会々長の重責をお引受けしました。まことに微力ながら当会発展のため今後とも努力をつづけたいと思ひますので、会員各位のご支援を心からお願ひ申し上げます。昨年(第23回)総会は第12回卒業生諸君が幹事役となり、そのご努力により多くのご来賓と同窓生をお迎えして盛大な総会を開催することができました。厚くお礼を申し上げます。また、本年の第24回総会は第

13回期生(委員長小林 勁氏)が幹事役となつて数次の委員会による開催準備を進められ、6月7日アルカディア市ヶ谷(私学会館)で、これも盛大に開催されることになりました。第13回期生幹事の皆さまのご努力に對し心から感謝を申し上げます。おかげ様で当会も年々発展をうけておりますが、さらに会の組織の強化と活性化を図り同窓生の親睦と交流を深めてまいりたいと思ひます。このため今までの懸案でもありました次の諸問題につき役員の方々と共に

- 推進をしてゆく覚悟であり、各々各位のご協力を切にお願いいたします。
- ① 会員の増強。
東京及び近県を中心とした首都圏テリトリー約4,000名(全校の25%)といわれる潜在会員の発掘。
 - ② 組織の活性化のため会則の見直し。
 - ③ 財政安定のため会費制(年会費、終身会費等)の再検討。
 - ④ 松本本部同窓会との連携の強化。
 - ⑤ 同窓連、長野県人会等との関係の強化。
 - ⑥ 現行持ち廻り制、卒業回期担当による年次総会開催の推進。
 - ⑦ 懇親コンペ等、同窓生の親睦事業の開催。
 - ⑧ 母校発展のための支援と協力。
- 以上により、会員が一人でも多く楽しく、参加できるような東京同窓会に発展させたいと念じております。会員各位の今後のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。ご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

東京同窓会の発展を期して



幹事長 森山 修二
(高一回)

皆様本日はようこそ!

会員の皆様にかかれましては、益々ご健勝のことと、心からお喜び申し上げます。

風薫り、緑滴るこの素晴らしい季節に、恒例の東京同窓会が開催され、懐かしの皆様とご一緒出来ますこと、本当に嬉しく、会長はじめ、会員の皆様一人ひとりに、お礼を申し上げます。想い起こしますと、私の県陵時代は、戦中戦後の混乱期ではあったものの、大切な「心」の教育を受けたこと、精神力の鍛錬、それに素晴しい先生たちにも恵まれましたこと、懐かしく思い出しております。

私も、昨年から、東京同窓会の幹事長に就任致しまして、母校の古きよき伝統を、次代に伝承する責任を感じ、且つ本来の同窓会の理想像を夢に描きながら、同窓の皆様、いつでも利用戴ける施設も欲しい、奨学制

度も、或は宿舍も…等と考えますが、まずは力を蓄えることかと痛感致します。

当時、東京へ出て来た者の同士が、だれともなしに、ふるさとを想い、仲間を想い、そして心ふるさとである県陵を中心に、さみしい時の…困った時の…心のより処としての集まりをもちたい、と願い発足したのが、当同窓会であり、回を重ねて第二十四回。まさに県陵精神の現れとつくづく感激致します……。

来年は母校も創立七十周年、東京同窓会も二十五回目という節目を迎え、今年は大変な年でもあり、ステップの為の、よきながら会の為に誠心誠意、全力を尽くしたいと、考えております。今日の一日は、どうか日頃の仕事の疲れを癒して頂き、懐かしの恩師との再会を愉び合い懐

かしの知故との友情を、再び温め合って頂きたいものでございます。末筆乍ら、今回の担当幹事役である高十三回卒の皆様には、特にご苦労さまでした、と申し上げたい。

東京同窓会の、益々の、いやさか、を念しあげますと同時に、会員の皆様方からの、今後共変わらぬ、厚いご協力とご支援を戴き、更に充実した東京同窓会にして戴けますようお願い申し上げます。私からの挨拶にさせて頂きます。



東京タワー観光株式会社

代表取締役社長 大澤 清重
(中学13回卒)

明治大学理事 評議員
株工フエム東京取締役

東京都港区芝公園4-2-8
電話 03-3433-5111

輸出入・国内販売

鉄鉱石・石炭・鉄鋼原料全般・鉄鋼製品
各種産業機械・石油製品・化学工業薬品

東南貿易株式会社

代表取締役社長 根本静夫 (中学5回卒)

(本社) 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル6F
TEL (03) 3279-2771-8

(出張所) 君津・名古屋・広畑・八幡・大分・大阪

(給油所) 大分
(駐在員事務所) シンガポール・マレーシア・インドネシア・台北

弁護士

樋口 和博

(中学1回)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4-1-5
市ヶ谷法曹ビル203号室

☎03-3230-4005

自宅 〒157 東京都世田谷区喜多見町5-21-15

☎03-3416-2904

本校創立第69回記念式典

盛大に開催!!

記念講演・今福 正君(高13回) 『遊びをせんとや生まれけむ』 母校愛のリレーで記念品を寄贈



在校生に語りかける今福 正君

故郷信濃路もようやく春めいた去る4月20日、本校体育館に在校生、同窓生役員、当番幹事に当る昭和36年卒業のサブロク会会員をはじめ約40数名が参加して、恒例の記念式典と記念行事が盛大に開催された。今年の記念講演は卒業生のなかから今福正君に講師を依頼、約一時間熱っぽく在校生に語りかけました。

「好奇心・行動力・向上心」 の3Kで悔いのない人生を

講演の要旨は、在校中のサッカー部の活動と、不良グループに金を巻き上げられて、その反動から、同じ様な道にすすみ、サッカーとけんかに明け暮れた県時代を中心に話した。番長相手のけんか、そのけんかでの屈辱感が消えた事、又それがサッカー練習のバネとなりエースストライカーとして活躍できた事。

上智大学卒業後は得意の英語を生かし、高収入と制服の格好良さにあこがれて日航のパイロットとなった。美人スチュワーデスと世界を股に駆けめぐるも、都合の悪い時電話一本で誰にでも代理が利く仕事である事に気がつき、自分でなければできない代理の利かない仕事をと考え、六年後、日航をキッパリと退社。もう一つの得意のジャンルである音楽の道を志して、ポニーキャ

ニオンに入り現在の活躍に至る。実社会を経験し、これまでの人生で感じた人間で大切な事は「どうでも良い人はいない。それぞれ役割を持ち生を受け、愛されていない人などは居ない。人を愛する心、育ていづくしむ心である」と。又「好奇心・行動力・向上心の3Kを提案。3K無き者には成長なし、在校生諸君は何年後かに目標を定め、それに向かって日々努力を重ねると共に、その他いろいろな可能性にチャレンジして欲しい。これが今迄の人生を振り返っての反省であり、実感である」。

「県陵は私にとっての「港」でありいつも心の拠り所となっている。皆さんも30年ほど後、自分をじっくり見詰めた時、県陵で学んだ事のありがたさを感じるであろう。だから今の高校生生活を充実させ、大切に、かけがえない人生を悔いのない様歩いて欲しい。」と結んだ。(万雷の拍手!!)

今福君の講演内容は硬軟おりませ、特に「けんか」場面の語り口は、裕次郎の日活映画そのまま迫力充分「近頃の若いもん」の在校生も、講演中無駄口アクビ一切なし、背すじをピンと伸ばし、眼はキラキラと輝き、一言半句聞き漏らしてなるものかと気合充実。聴衆をひきつけ、魅了したすばらしい講演会は大成功を収め終了した。

松岡 歯科 医院

松岡 博一
(中13回)

東京都文京区本郷5-28-5
TEL 03-3811-7682

県ヶ丘高校同窓会名簿は当社で印刷。コンピュータ組版に秀れた経験と実績があります。

電算印刷株式会社

専務取締役 奥原兼夫 (中15)

(東京営業所) 千代田区神田小川町13-11-2
インヘリアル御茶の水311
TEL 03-3294-8094
(本社・工場) 松本市筑摩3270
TEL 0263-25-4329代

石川元也 法律事務所

弁護士 石川元也 (中21回)

客員弁護士 森山淳哉 (中11回)

大阪市北区西天満6丁目9-13
TEL 06-362-2701



講師 今福 正
(ペンネーム 松本礼児)

サブロク会より
記念品贈呈

引き続き、母校愛のリレーに
移り、今年卒業30周年を迎えた
昭和36年卒業のサブロク会の橋
倉会長より母校への図書購入資
金として30万円、又教育助成資
金として50万円が中村校長に手
渡されました。橋倉会長をはじめ
め、サブロク会幹事の皆さん募
集活動をはじめ、記念式典の準
備、開催など多忙なか本当に
ご苦労様でした。

記念講演講師紹介

- 略歴
- ①昭和36年 松本県ケ丘高校卒業 同年 上智大学入学
 - ②昭和39年 上智大学在学中に 日本航空に入社し国際線パイロットとなる。
 - ③昭和40年 上智大学法学部卒業
 - ④昭和45年 日本航空チーフパイロットからポニーキャニオン(株)に転社
製作ディレクターとして 森昌子、林寛子、前川清等の歌手を育て多くのヒット曲を製作演出する。
 - ⑤昭和53年 「松本礼児」のペンネームで作詩家として活動を開始する。
石野真子の「ジュリーがライバル」がデビューヒットとなる。その後もポップス、演歌等ヒット曲を作り作詩活動が続ける。
 - ⑥昭和63年 古賀政男記念音楽祭で大月みやこ歌唱の「乱れ花」でグランプリ(大賞)を受賞する。
S 63年度最優秀作品賞を受賞し歌謡作詞家日本一となる。
 - ⑦現在 ポニーキャニオン(株)製作室長として製作ディレクターを担当しながら作詩活動を続け芸能界で活躍中。

松本県ケ丘高校東京同窓会平成2年度会計報告

(平成2年4月1日/平成3年3月31日)

平成3年3月31日

（収入の部）			（支出の部）		
摘要	金額	摘要	金額	金額	金額
前 期 繰 越	177,353	第23回 総 会	1,147,025	連 費	1,147,025
第23回 総 会	1,367,000	会 場	205,216	費 費	205,216
会 告	210,000	通 信	116,950	費 費	116,950
広 祝	415,000	会 報	102,176	費 費	102,176
祝 カ	105,040	会 諸	170,699	費 費	170,699
会 費	68,000	渉 外	223,650	費 費	223,650
会 利	1,170	事 務	19,701	費 費	19,701
幹 事		局 会	201,848	費 費	201,848
行 行		基 金	105,040	費 費	105,040
銀 行		運 営	51,258	越 越	51,258
合 計	2,343,563	合 計	2,343,563		

〈特別会計報告〉

本会運営基金として指定金銭信託 ¥940,698。 - (大和銀行東京営業部) 上記の通りご報告致します。

会計幹事 浜 一 昌
同 林 梯 男

〈平成2年度会計監査報告〉

会計幹事から提出された会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であることを認めます。

平成3年5月30日

会計監査 山 崎 賢
同 花 岡 俊

東京同窓会
親善ゴルフコンペ開催

第24・25回のゴルフコンペの結果をお知らせ致します
演 一昌(高8期)

第24回アルペン杯争奪ゴルフコンペ
開催日 平成2年11月6日(火)
場 所 日本CC
幹 事 高七期
優 勝 (B・G) 花岡 俊(高7期)
GROSS 82 HDGP 10・8
NET 71・2
準優勝 百瀬 勇(高9期)
GROSS 84 HDGP 10・8
NET 73・2

第25回アルペン杯争奪ゴルフコンペ
開催日 平成3年4月25日(木)
場 所 相模湖CC
幹 事 高八期
優 勝 花岡 俊(高7期)
GROSS 86 HDGP 14・4
NET 71・6

第26回 厚木国際CC 平成3年
11月19日(火)で開催予定です。
参加希望者は高8期幹事・濱まで
ご連絡下さい。8組で締切です。

「証券貯蓄で豊かな明日を…」

株式・国債・割引債
社債・端株(全銘柄)

三澤屋証券

常務取締役 矢島弘基 (高1回)

本 社 03(3667)4411 上尾支店 0487(74)1211
茅場町支店 03(3667)3146 戸塚支店 045(881)2941
渋谷支店 03(3463)0481 松戸支店 0473(61)8661
船橋支店 0474(23)4321

経営戦略の立場から…すべてのセールス
プロモーションをクリエイトする

BRAIN

代表取締役 川上 嘉則
社 長 (高1回)

〒116 新宿区西新宿3-3-11 杉本ビル6F
TEL 03-3344-0574代
FAX 03-3344-0761

松本土建株式会社

代表取締役社長 山口順次(中21回)

取締役営業部長 小澤淳一(高13回)

常務取締役東京営業所長 青木忠男(高4回)

本 社/松本市深志2-5-26
TEL 0263-33-4550
東京営業所/東京都文京区本郷3-4-5
TEL 03-3818-9248



祝 第24回松本県ヶ丘高校東京同窓会

益々の御発展を祈念いたします

東京特建ナショナル
住宅株式会社

常務取締役

山賀一弘
(高校3回)

本社 〒113 東京都文京区本駒込6-5-17
TEL 03-3943-6611(代表)
FAX 03-3943-6610

製造・販売種目

・岩素製品全般
・クロレラ食品全般

株式会社 相(アイデン)伝

代表取締役 堀切競雄(高校2回)

本社 東京都千代田区神田練馬町73番地
電話 03(3253)6935、1036
埼玉工場 埼玉県三郷市番匠1-6-6-1
電話 0489(52)6422、6067

祝 第24回 東京同窓会

長野県松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

幹事長 **森山修二** (高1回)

財団法人 日本広報センター 部長

東京都千代田区永田町1-11 全国町村会館内
電話 03-3580-3221
FAX 03-3593-2390

ふぐ、うなぎ、天ぷら、和食処

日本料理 湖こ浜^{はま}

宮坂尚宏(高6回)

新宿駅(西口)より徒歩5分。
お気軽にお立ち寄り。
TEL 03-3371-3696、3361-3196
東京都新宿区西新宿7丁目4番5号

アルペンの信頼で
電話1本宅配便利用!
県陵生O.B特別割引

オオツキ
ゴルフ
プロショップ
〒253 神奈川県茅ヶ崎市
東海宿南2-1-1
TEL 0467-87-0228

代表取締役 大月 実
(高校4回)

山岸光臣法律事務所

弁護士

山岸光臣
(高校3回)

〒101 東京都千代田区神田佐久間町1-14
第2東ビル8F 801号室
電話 03-3255-2700
03-3255-2709

不動産一般

株式会社 セイトク

宮川事務所

宮川政男(高12回卒)

〒243-04 神奈川県海老名市国分南1-2-20
TEL 0462-33-8977
FAX 0462-33-9071

都市開発、マンション、商業ビル

株式会社 大賢ホーム

代表取締役 雨森紀彦
(高12回卒)

〒157 世田谷区南鳥山6-6-26
サンマルシェ本館2F
TEL 03-3300-0292
FAX 03-3300-0251

多田税務会計事務所

税理士

多田允彦
(高12回卒)

事務所 渋谷区幡ヶ谷2-20-8
〒151 アルム幡ヶ谷215
TEL 03-3378-5855
自宅 横浜市緑区美しが丘1-2-606
TEL 045-901-1057

ダイナテック株式会社

代表取締役社長

中嶋栄一
(高13回)

TEL 0263-32-5162 FAX 0263-33-5989
本社/松本市埋橋1-2-22
工場/松本、豊科、塩尻

木曾漆器、座卓、記念品製造卸

有限会社 てづか漆器産業

代表取締役 手塚 確
手塚和宏(高41回)

本社卸部/松本市渚1丁目1番34号
電話 0263-27-2333代
FAX 0263-27-1829

木曾工場/長野県木曾郡木曾平沢
電話 0264-34-3394

丸山昇志
(高12回)

田辺製薬(株) 横浜営業所

横浜市神奈川区松本町3-21
TEL 045-321-7411代

ASIマーケットリサーチ株式会社

専務取締役 **新井恒夫**
(高13回)

TEL 03-3432-1701
FAX 03-3433-3394
〒105 港区新橋6-17-20 米田ビル

住友生命保険相互会社福島南支社

営業部長 **筒井敏行**
(高13回)

勤務先/福島県郡山市駅前2-10-15
TEL 0249-22-5805
FAX 0249-23-6786
自宅/千葉県流山市松ヶ丘2-355-20
TEL 0471-45-9467

●酒●くすり●食品スーパー

ダイリユー

代表●**高山茂寿**
(高13回)

〒390 ●松本市大字島内島高松1858
TEL ●(0263)47-1189



祝 第24回松本県ヶ丘高校東京同窓会

益々の御発展を祈念いたします

<p>長野県議会議員</p> <p>望月 雄内 (高13回)</p> <p>〒399-83 南安曇郡穂高町大字穂高2372 TEL 0263-82-2453</p>	<p>祝 東京同窓会</p> <p>第13回県陵卒業 サブロク会</p> <p>代表幹事長 橋倉宗隆 (富士物流株)</p> <p>副幹事長 北浜博義 (南信日日新聞)</p> <p>会計幹事 渡辺 広 (渡辺会計事務所)</p>	<p>土地・建物の総合コンサルタント 長野県知事免許5/1917</p> <p>三代澤 不動産</p> <p>代表 三代澤 滋人 (高13回)</p> <p>TEL 0263-32-3438^{ミヨウワ}</p> <p>FAX 0263-36-3438^{ミヨウワ} 松本市中央4-9-6</p>
<p>大東京信用組合 亀戸支店</p> <p>支店長</p> <p>望月 二郎 (高13回)</p> <p>〒136 江東区亀戸1-27-9 TEL 3685-3351 FAX 3683-9147</p>	<p>松本へお越しの際は是非お立ち寄りを</p> <p>割烹・レストラン 松本館</p> <p>常務取締役 宮澤 永光 (高13回)</p> <p>松本市丸の内7-39 TEL 0263-32-8001 FAX 0263-34-2400</p>	<p>柳澤公認会計士事務所</p> <p>公認会計士</p> <p>柳澤 豊浩 (高校13回)</p> <p>〒260 千葉県千葉市磯辺3-10-22 TEL 0472-78-4489 FAX 0472-78-4489</p>
<p>プール水の浄化のバイオニア</p> <p>株式会社 メルス技研</p> <p>代表取締役 関 秀行 (高13回)</p> <p>〒167 杉並区本天沼1-25-12-111 TEL 3301-1339 FAX 3399-5210</p>	<p>雛人形、五月飾り 専門店</p> <p>盆提灯、七夕人形</p> <p>人形の緑屋</p> <p>代表取締役 百瀬 幹雄 (高13回)</p> <p>〒390 松本市中央2丁目6番5号(高砂通り) 電話 0263-32-0763代 FAX 0263-35-3240</p>	<p>松本へお越しの際はぜひお立ち寄り下さい</p> <p>県陵生憩の場</p> <p>レストラン喫茶「たんぼぼ」</p> <p>迫 信一 (高13回)</p> <p>〒390 松本市筑摩2789-1 電話 0263-27-0216</p>
<p>(有)ホテル大一屋</p> <p>代表取締役社長</p> <p>中村 忠資 (高13回)</p> <p>〒390 松本市中央1丁目5-1 TEL 0263-32-1066 FAX 0263-34-1401</p>	<p>不動産鑑定事務所</p> <p>不動産鑑定士</p> <p>横山 正 (高13回)</p> <p>〒173 板橋区大谷口北町46-12 TEL 03-3974-5431 FAX 03-3974-5435</p>	<p>浅間温泉へお越しの際は…</p> <p>いづみ荘</p> <p>専務取締役 市川 雅右 (高13回)</p> <p>加藤 裕司 (高9回)</p> <p>中條 みき (高33回)</p> <p>TEL 0263-46-2323 FAX 0263-46-0692 松本市浅間温泉370</p>
<p>(有)横内一級建築士事務所</p> <p>代表取締役</p> <p>横内 節 (高13回)</p> <p>松本市島立1814 電話 0263-47-5662 FAX 0263-47-8327</p>	<p>株式会社 エイデザイン</p> <p>一級建築士</p> <p>中田 利正 (高13回)</p> <p>TEL 0263-52-6920 FAX 0263-52-3591 塩尻市大字宗賀字桔梗ヶ原71-198</p>	<p>建築材料販売 エクステリア施工</p> <p>田多井建材有限会社</p> <p>代表取締役 田多井 文武 (高13回)</p> <p>〒173 東京都板橋区幸町21-10 TEL 3973-6054 FAX 3959-1651</p>

恩師メッセージ

県陵を偲んで

A組担任 向山 四郎

あれから三十年の歳月が夢の如くに流れました。「光陰矢の如し」とは全く今の私が皆さんを偲ぶ言葉の総てです。それぞれの職場の第一線で御活躍のこととお聴きして心からお慶び申し上げます。

思へば私は県陵で十八年御世話になりました。それは私が三十才代でした、家も運動場の隣りで当時は下駄で通勤しました。なにしろ五分で研究室に到着という次第、それなのに遅刻の生徒に対しては大変敵しかったことを今想い出しております。遅刻にも様々な種類があった教室に飛び込むのに汗が、だからだと思をはあはあさせてすべり込む生徒には寛容な気持ちで接しました。その結果、生徒は駅からはゆっくりゆっくり牛の歩みの如くで、某高校の近くは特に道を測歩し正門に近づくと急に駆けて、息をはずませて体裁を作り教室に入る等実に芝居が上手な生徒が沢山いたことを、今では懐かしく思い出されます。

研究室の隣が一〇九教室で常に私の担任の教室でしたので生徒がさわげば直ぐに私の耳に聴こえてしまうので、私の「クラス」の生徒は常に他の組の生徒よりは騒げずに誠に気の毒であったなあと今にして思います。

県陵祭や学有林作業、競歩大会、等々私も若かったあの時代が再び巡ってこないかなあとつくづく思う昨今です。想出多い県陵に別れをつけて私は豊科高校に転任致しました。この学校は当時女子高でしたので今迄知り得なかった、色々な場面を究めることが出来ました。安曇野の雄大さ、常念の美しさ、学校の窓から眺められる豊稜五穀の一大パノラマ大町方面も一望の彼方にある広野。快適の日々を過ごしました。

心豊かに老いを美しくとは、思いですが仲々その心境には到達し得ず、人間は一生勉強の連続だあとと思っております。でも一番大事なのは今にして思うのですが健康。健康これさえあればと最近頓に感じます。人生既に折返し地点をとくに過ぎたのだから残された日々を、思い出に残る毎日でありたいと願っております。

安曇野懐想

C組担任 降旗 鉄治

今年も北アルプスの雪線が日に日に後退して、雪形に農事の励ましをせしめる季節がやって来た。岳の白と野の緑のふる里安曇野を思い描いているうちに遠き日の幻が浮かんで来る。村の小学校への登校路を外れて水たまりの雪を踏み踏みガッチを涉った冬の日もいつの間にか強さを増した陽光につれて水田は一面ピンクのれんげ田に变身する頃、現今の学童と違い宿題一つ出ない身軽な放課後は村の悪童等集まってくる兵隊ごっこ、れんげ田は恰好な戦場と化して、ふり廻す棒切れに雲霞の如き敵兵を薙ぎ倒し、切り払い親達の怒鳴り声が聞こえてくるまでは、大事な緑肥作物のれんげを踏み荒らしての縦横無儘の大活躍。遊び疲れ空腹を抱えて家路を辿

願っております。後一年で古希を迎えます。なんと人の生涯の短かく、早いものだろうかやゝ慌てゝいます。皆さんは県陵の卒業生なのですから、みんな大きく胸を張って大道を闊歩して下さい。では御元気で御活躍の程心から祈っております。

頃は里の灯が遠近にまたたきはじめて牧歌的な一日が終わりを告げていた。夏の日、学校からの帰り道、梓河原に甲羅を干したり流れに興じた後、河原菜莢の甘渋い実に憧れに似た初恋を思い胸つまつた日も遠い幻か。豊かに稔った稲穂の黄金も穫り終えた後は落ちて行く秋の日のうらぶれたそこはかとなき虚しさ。あかあかと燃える佃戸裏ばたにつどい束の間の団欒に年を越すときめきと冬の厳しさに思い悩んだのも夢……。安曇野の四季は移ろいて年を重ね、今もまた岳の厳しさと田圃の暖かみが都会の若者たちを誘きつけている。近ごろの世相あまりにも慌し

暖冷房・空調・換気
給排水・衛生・防災設備工事
星野工事株式会社
専務取締役 **高坂国男**
(高13回)

本社営業所
〒152 東京都目黒区目黒本町6-19-2
電話 03-3792-7311(代表)
FAX 03-3792-7313

コンピューターソフト開発
家電製品の販売
株式会社 オール・エス・ピー
代表取締役社長 **上条俊策**
(高13回)

〒390 松本市本庄1-3-12
TEL 0263-36-2260
FAX 0263-36-2287

外国語会話指導
英語、独語、西語、仏語、伊語のことなら
(有)ワイズ外語会話
代表取締役 **金子萬明**
(高13回)

〒166 杉並区阿佐ヶ谷南1-6-3
清松アームズ6A
TEL 03-3312-5229



く、遠き日の懐想も一ときの安らぎになればと……。
大都會の喧騒に心疲れた折は、ふる里信州に安らぎを求めに来て下さい。美しい自然はきつと潤いを取り戻してくれると信じます。

あの頃

D組担任 松本今朝七

松商が、春の甲子園で準優勝の大活躍をした。優勝してもおかしくない内容である。

かつて、全国高校サッカー(昭37)で、県陵チームについて、すぐ隣の西宮球場へ行っただことを思いだす。当時は珍らしい芝生のコートで、藤枝東(優勝校)の藤色のユニホームが緑に映えて、あでやかだったことや、今を時めく釜本が、山城のCFで、鮮烈な動きをしていたことなどが目に浮かぶ。

県ヶ丘のゲームは、サブちゃんこと渡辺監督の采配が冴えて、初戦、東中国の勝山を4-3で破り、2回戦の地元兵庫工とは、キックオフ直後に取った1点を猛攻に耐えに耐えて1-0で守り切った。準々決勝は広島大付属に0-1で敗れた。松商ではないが広島というのも、何か因縁めく。

私は裏方だから、金勘定をしながら、「このまゝ勝ち進めば足りなくなる。何時、学校に連絡しようか」と思案していた。宿の人に「ケンガオカの先生」と呼ばれた。一瞬分からなかったが、考えてみれば、この方が素直な読み方である。

AGATAGAOKAの10文字の中にはAが5個ある。50%の占有率である。うっかり発音すると、始めから終わりまで口が明けっぱなしになる恐れがある。テストに「AGATAGAOKAの順列の個数」を出したことがある。10文字中に、Aが5個、Gが2個あるところがねらいである。愛称のKENRYOは地元の若い人達に、特に人気がある。

県ヶ丘は常に理想を求めて前進する校風がある。現状を脱皮するために、毎年新しい実験に取り組み、大胆に改革を実行した。

いま、長野県では学力問題が騒がしい。学力推進校を指定して、ユニークな実験に取りかかったところである。学力別講座編成、補習授業、等々である。

あの頃、県ヶ丘で学力別講座編成からさらに進めて、学力別クラス編成までやってみた。意欲向上をめざして、有料の補習授業まで考えたが、流石、これは実現しなかった。
全国の意欲的な高校を参観して、実現の可能性があるものは貪欲に吸収した。私も、北は仙

台二高(一高ではなく)から、点々と、南は兵庫の灘校まで参観した。補習科と称して一浪の授業を現役の先生の時間割に組み込んである高校(有料)。年間行事予定表には、日曜を含めて、空白は正月三ヶ日だけの学校(生徒が希望すればのこと)。東大進学率と運動部の全国レベルの活躍が併行している高校にその秘訣を聞いたら、「分業です」と答えたこと。始業前、放課後の補習、さらに、チューター方式の補習をやっている高校。学校では何もしない高校(家庭教師や予備校に任せる)。灘校などでは、一時間数学の授業をみせて貰った。無礼なお願ひも、若気の至りということ許されたのかも知れない。今では恐らく難しいと思う。私の前任校でも「授業の支障になる」と断ることにしていた。

こういう経験は、若い私には非常に勉強になった。旅費を与えて視野を広める経験をさせてくれた当時の県ヶ丘の校長先生達に、改めてお礼を申し上げたい。

実験がすべて成功するわけではない。しかしそこから創造の芽が幾つか顔を出す。そして最も大切なのは、学校が何かをひたむきに求めている姿勢の中に、生き生きとした土壌が培われ、そこに若き生徒諸君が育っていくことである。

この頃、県ヶ丘で学力別講座編成からさらに進めて、学力別クラス編成までやってみた。意欲向上をめざして、有料の補習授業まで考えたが、流石、これは実現しなかった。
全国の意欲的な高校を参観して、実現の可能性があるものは貪欲に吸収した。私も、北は仙

ミナ
東京県陵三七会会員一同
(東京在住・高校14回卒)

幹事
林 悌男、中野幹隆、青山利栄

連絡先 048-622-0109
〒331 大宮市二ツ宮26-19

二木税務会計事務所

税理士 **二木元三**
(高13回)

〒104 中央区築地2-7-12
第十五山京ビル1106
TEL 03-3543-2015
FAX 03-3543-2010

爬虫類製品 製造販売
(株)アंक・ジェット

代表取締役社長
逢沢純一郎 (高13回)

〒123 東京都足立区栗原3-20-1
TEL 3890-0201
FAX 3890-0641
自宅FAX 3881-4181

私の青春時代、十六年間の県ケ丘での生活が、それからの私の生き方を決めてくれたように

皆さんのこれからに向けて

F組担任 竹内 一雄

鳥兎^{うさぎ}怒々、諸君が拍手とともに校門を出てから、三十回目の桜が開こうとしている。この稿を求められて数日後、二、三年ぶりに県陵まで自転車(相変わらず!)の足をのばし、キャンパスの西隅から南へ廻ってみた。南西隅の小暗い木立がその頃の雰囲気を残して、あらためて懐しさが沁みて行んだ。昨年三月退職後、念願の素浪人になってコーヒーと酒とソンドク^{ソンドク}の山崩し、自慢するわけではないが反偏差値的教師で一貫し、今は脳軟化防止のためにあえて難解な(?)書物に挑み、おくれればせながら偏差値の向上を図っている。懐かしさに沈んだり、追憶の走馬燈をまわすつもりはないけれど、一とき感傷に浸ることは許されるだろう。

思う。(1991.4.10)

ていよう。リアルタイムを生き、た僕にとっても状況は変らない。強歩大会、遠足、県陵祭、クラスマッチなど、「物語」が生まれる場に事は欠かないが、個々の人たちとの個々のイメージが僕にとってはより鮮烈だ。A君とB先生の確執、C君らのパフォーマンス、D君とE君さんの青春、F君たちの校内外武勇伝、G君の登校拒否のねばり、H君らの「ワル」のチームワークetc。——一つを書くだけで与えられたスペースは終わってしまうであらう「物語」の数々。予備校化がしばしば反撥の語気で行われたが、管理教育という言葉はまだ日常化していきなかつた。樺美智子さんの死をまたらした安保闘争は、後年の全共闘の時のように高校生に直接の影を落とすものではなかつた。むしろ休講や自習を享受していたかもしれない。そのような背景において綴られた物語は、校舎が赤い夕陽に染まる学園的な夢をはらんでいたのだろう。

諸君は、しかしさまざまな意味で敵しい状況にあらう。想像力を欠き管理を事とする政治や外交、国際的な流動化、教育の退廃などの矛盾に囲まれながら、あらゆる場で判断の誤りなきを求められ、行動的的確さが必然とされているはずだ。そうしてかつてのあこがれは現実によって鍛えられ、より内実的な夢に転位し自己同一性を支えているだろう。とすればほとんど必然

県陵に十三年もいて

G組担任 山田 貞美

松本平の北の端、祖父ケ丘の麓より県陵へ転動することになりその一日目のこと。松本駅前で車の多いことに驚いていたら、二中第一回卒の松沢喜代美先生にオイと肩を叩かれまして。松本県ケ丘高校へ転動の旨をいうと、又一緒か宜敷くといわれた。昭和三十三年当時の松本駅前にはまだ交通信号は一つも無く、漸く駅前より東方へと道路の拡幅が始められていました。歩き乍ら先生よりお話を聞く。それによると元、電車通りは狭い小路で、松本高等学校の建築後、南北の街並より拡幅されて広い通りとなった由。この街路をよく通動したものでした。

建物に関するご案内
長野ニューホーム株式会社

取締役 土屋博幸
副社長 (高15回)

本社/松本市大字島立801番地
TEL 0263-47-8500(代表)
支店/長野
営業所/東信・諏訪・伊那・上越

株式会社 哲学書房

代表取締役 中野幹隆
(高14回卒)

〒101 千代田区神田駿河台2-3
パークノヴァお茶の水406
TEL 03-3295-7474
FAX 03-3295-7476

財団法人
穂積社会事業財団

理事長 木下勝四郎
(高14回)

〒130 東京都墨田区江東橋4-29-13
中央ビル
☎ 03-3635-6566

くり、「万両」、後に「さき」の「千よ」などの思い出の飲み処は悩みや不明な事の解消の場となりました。憩いの場が多くなると、職業柄それを「大松本ノミヤマップ」として完成、その後の特に新任の若い先生には有意義だったとか。図中の記号に、この印は会計の計算に注意とか、サービスは悪いが格安など。

十三年間に四回担任しました。最初の年は三年E組の副担で、後は続けて毎年担任しました。その頃県陵には今のよう女生徒は余り入学しなかった。

授業編成の都合で一年時にはA・B組に、二年組替時に各組に三人位配属されました。

HR教室の入口には、山田教室などと書かれた木札がかかっていました。私はその木札にある種の温かさとアカデミックな雰囲気を感じたものでした。

私が転任した頃、進学の質と率の向上に期待して「E組」なるものが三年年にわたりつくられていました。然し三回で止めてしまったのはどういふ訳があったのか、若い私には不可解であった。E組は進学希望者で構成された、英才教育を目標としていました。私も質問の多いE組を好きだったので惜しいと思いましたが、

私は在職中、山岳部顧問でしたので山行で休日が殆どつぶれた。

るのには閉口しました。また山行時は私の性格もあって、特に同行のOB諸氏とは安全の為にと自説を曲げず、大変むたがられたものでした。二十九年の冬山遭難後、安全登山の取組みは慎重で、山行したい部員と山行を止めさせたい学校側の間で、常に板ばさみになっていました。結局、私達が付添う形で解決しました。幸いにして在任中には無事故で良かったのですが、然し、県陵から深志へ転任した昭和四十六年の五月、且て共に山行した手塚英信、柳沢利文、青木憲一の三君が、ヒマラヤのドウラギリV峰、コーナボン氷河に遭難死してしまいました。報せを受けて往時の山日記を読み、とどめもなく流れ出る涙をおさえることは出来ませんでした。

卒業生とはいえ、その責任とどうしようもないその現実と唯々、呆然として過ごしました。後に

陵風会(過去に県陵に勤務した教職員の間)で、平林圭介元校長さんに「県陵山岳部の安全は山田の努力の成果だ」などのお話があり、三十年もの昔の事を良く覚えていて下さったと思

い感激しました。山岳部の顧問を永年していると装備費が多か

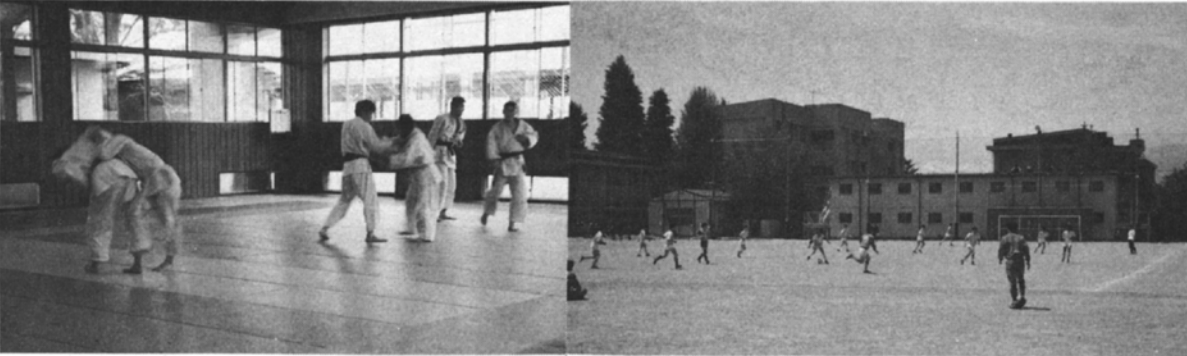
かり、市内には大変嫌われたものです。市内の有名な靴屋さん「竹内」で、靴こそ山の安全の第一と考えて上等な靴を買いました。靴代の支払いにも

困窮しましたが保管場所にも困りました。最初は学校の研究室、然し六ヶ月位してもう大丈夫と家に持ち帰ったところ、賢妻(?)に発見され、イイ靴だネエー。とくすぐられました。遂に苦笑しながら降参したのも今は過去の思い出となりました。また昭和三十八年の岡山国体に選手と共に山岳競技総監督として出場、青年の部、高校の部で共に長野が最優秀県に選ばれたのは佳き想い出となりました。

長い人生で目を輝かせて隣人に話をするテーマは、誰でも一つや二つはあるものです。私にとって県陵山岳部の十三年間は、まさにそれに相当するものだと思います。この期間の数多くの山行で私は大切なものを沢山得ました。

それは部員との山行で、慎重な行動と共に、精神的、肉体的苦しさに耐えることの尺度を知りましたし、又その期間に私の基礎体力が更に一段と向上した事です。以上の点で現在感謝しております。

終りになりましたが、県陵十三回の諸氏には今後共益々々健勝で、ご活躍されますよう祈念いたしております。



広告のご用命は
総合広告代理店
代表取締役 **大嶋三紀夫** (高23回)
ABC株式会社
松本本社 / 松本市大手1-9-23 (〒390)
TEL 0263-36-2111(大代表)
FAX 0263-36-2112
長野本社 / 長野市若里723-6 (〒380)
TEL 0262-28-0200(代表)
FAX 0262-28-3270
関連会社 / アスティック株式会社

株式会社県建築設計事務所
代表取締役 **櫻井俊夫** (高16回)
〒390 長野県松本市理橋1-1-6
TEL 0263-36-5537(代表)
FAX 0263-36-9262

タイガー印スポーツ用品
株式会社 **タイガー**
代表取締役 **奥原輝男** (高15回)
〒113 東京都文京区弥生2-5-3
TEL 03-3818-8251
FAX 03-3818-8252

特別寄稿

東京同窓会草創の頃
離京に際しての想い出



中学七回 塩原 貞文

わが松本県ヶ丘高校東京同窓会が発足して、かれこれ四十年余の歳月が流れました。短いようで長い歴史を保っています。静かに目を閉じると走馬灯のように、当時のことが思い起こされます。

戦前の東京では、卒業年次やクラス会単位のグループが時折会合していたようです。とても、全学的規模での同窓会組織はありませんでした。それが昭和二十年の終戦を契機に、わが東京同窓会が作られることになりました。

当時、掛野礼・青柳季男・中沢恒雄さんから中学一回卒業の先輩の呼びかけに応じて、中学二回の笠原正文さん、中学三回の中沢依男・薺 岩尾さんなどが戦後の食糧難、物資不足の中を、手弁当で結成準備に奔走されました。

私はその頃、幸運にも霞が関の工事事務所へ転動していまし

たので、早速と笠原さんに呼びだされて、そのお手伝いをさせていただくことになりました。新宿三光町の花園神社近くにあった、笠原先輩の歯科診療所を連絡事務所とし、打合せを重ねました。漸く戦後の復興で、周辺の特飲街は、焼酎トタンを集めた急造のバラック建ての店で、安酒や水団を売っていました。話が済むと先輩の皆さんに連れられて、カストリ焼酎や、バクタンを奢ってもらったものです。店内のラジオから流れる並木路子の歌う「リンゴの唄」や、笠原シヅ子の「東京ブギウギ」に耳を傾けながら、安酒を啜っては氣勢をあげたものでした。さて、準備も整って第一回目の会合に漕ぎつけました。確か昭和二十二年の秋であったと思えます。会場は神宮外苑にある日本青年館を借り受けました。極端に物不足の時代で、配給切符で食糧や衣類などを行列して

買いました。酒類は統制令でなかなか手に入りません。もっともヤミ市だけは別格で、金さえあれば何でも手に入りました。そんな中で、何とか工面をして、酒肴を準備しました。酒は一合徳利を二人で分け合い、ビールは三人に一本という有様です。つまみは、三角形のショートケーキ、スルメイカ、ミカンが所在なげに置かれていました。いま、想い出しても涙がでるような宴会のメニューです。

けれども集まった七十三人の面々は、そんなことには一切お構いなし。みな、同窓生に会えたという喜びに溢れ、会場は熱気に包まれました。「オイ！生きていて良かったなあ、兵隊はどうだった……」と、辛かった軍隊生活や、大陸からの引揚げの苦労話など終戦時の情報を、おたがいに交換し、戦死した学友を悼み生きている喜びを実感したものでした。飲みものや食べるものは少なくても、積もる話が多すぎて、一同は一時間半を大いに楽しみ大満足です。

「風が十字に荒ぶれ狂ふ／信濃の直中松本平……と声高らかに校歌を斉唱して、次回を約しつつ散会しました。

二回目は、幹事の計いで芝大門にある昭和電工本社の会議室を借りて開催しました。この時は酒肴は持ち込まず、お茶とせんべいの会合でしたが六

十名余り集まりました。三回目は、日比谷公園の地下駐車場脇の集會室でした。初期の頃でいけば豪華やかだったのは五回目の時だったと思います。目黒通りに面した八芳園で開いたものです。

昭和三十二年頃であったと思えます。はじめて松本から、恩師を招待しました。「もはや戦後ではない」との惹句が流行語になった頃で、確かに酒肴も豊富になり、幾種類もの料理がテーブルに並べられました。参会者も百五十人と倍増し、ほぼ現在の形に近づいて参りました。以後、厚生年金会館や東京大飯店など、交通の便を考えて、新宿近辺でおこなわれました。

この時期、会長職や幹事役の方々の移住や転勤が相次ぎました。昭和三十年代の中頃からは、一時中断のやむなきに至りました。その後、東京へお見えになった樋口和博さん(中学一回)が会長となられ、同窓会を再開しました。会の役員も入れ替って、隔年毎に開かれてきましたが、昭和五十九年の十七回目からは毎年開催となりました。皆様ご承知の通りであります。年を追う毎に盛んになり、本当に嬉しい限りです。

そもそも、同窓会の目的は一体何なのでしょう。母校を中心とした学校愛に発するものであることは言を俟ちません。一

長野県不動産センター有限会社

社団法人全日本不動産協会会員
宅建業免許長野県知事2第2881号

代表取締役 碓井 勝 (高24回)

〒399-07 塩尻市大門八番町9番3号
小林ビル1F
TEL 0263-54-3449
FAX 0263-52-6341

筒井 完次 (高23回)

〒390 松本市篠部4-10-8
TEL 0263-25-5546

土地・建物・マンション・
アパートの御用命は

株式会社 三和開発

代表取締役 中嶋 勝 (高23回)

〒399-07 長野県塩尻市大門1番町10番3号
TEL (0263)-53-4800(代)
FAX (0263)-53-4801
夜間連絡先 52-3946

―同窓会で得た知遇は、先輩後輩の垣根を越え、ある場面では親きょうだいよりも親近感を覚えるものではないでしょうか。こうして得られた心の安らぎが、仕事に取り組み闘志になったり、他人への思いやりに繋がったり、自己を啓発する道標を与えてくれるものではないかと思えます。泉陵の同窓という絆は、他に誇るに足る大きな財産であると申せましょうか。

私事に亘って恐縮ですが、亡き祖父の遺志を継ぎ今後は郷里の松本へ帰って、事業をし生活することになりました。今秋には帰郷する予定でおります。四十年余、わが東京同窓会とともに過ごし得たことは、誠に幸福であったと感謝しております。樋口和博さん、根本静夫さんの元・前会長はじめ、現会長の大澤清重さん、役員の方々に格別にお世話になりました。東京同窓会での想い出を胸に、田舎へ帰っての老後を、有為に送りたいと思えます。

皆様の益々のご活躍、ご発展を心から祈念いたしました。御礼のことばに替えさせていただきます。永いこと大変にありがとうございます。

(しおはら・さだふみ) 松本市出身。現役時は鹿島建設勤務の傍ら永年の間、幹事長職に留る。現在は美鈴産業㈱代表取締役。今回の総会に際して、泉陵

校章入りの風呂敷を出席者全員に寄贈。また、運営基金の一部に金三十万円を東京同窓会に寄託されました。



B組担任

松澤喜代美
先生を偲んで

丸山善一郎

師は、平成元年七月八日に逝った。(78才)

昭和三十五年の五月、つまり三十年昔の今頃であるが、あの燦んだ校舎のささくれた教壇の上に小柄な師は立っていたはずである。

師がクラス担任であったのは、確か三年生時の一年間であったと思う。クラス担任ではあったが、師の担当教科である英語の授業を受けなかった級友もあって、エピソードにも乏しかった師の印象を薄いとすると居るのはやむを得ない。

だが、師・松沢喜代美は、イモチャである。

泉陵最初の卒業生である。そしてその母校にて長く教鞭を執り、どこか田舎びて、親しみの

沸くイモチャの名を冠せられた。この名はよもや諸兄も忘れてはいまい。

大先輩ではあったが、教室での師は、余りその先輩面を出すことはなかった。どちらかと云えば、無駄の無い、静かな展開を以って授業を進めていたかと思う。教場を歩きまわることも少なく、ほとんど教壇付近を離れることのなかった師である。師が見せた先輩としての面は一つ、出来の悪い生徒に対する寛大さではなかったらうか。但し、時折、頬をふくらませては吐き捨てるような苦笑を見せていたことがある。あれは、不甲斐無の後輩への嘆きであったかも知れない。

母校愛と生徒への思いやりは強い師であったそうだ。過日、ご遺族宅を訪れた。昔日、佳人を偲ばせる奥様より、「家の事など全然考える人ではなかったのに、学校の事は、細かいことまで気に掛ける人でした。」との述懐を得た。そんな師の思いを知らぬまゝ、師を師として仰ぐことすらぞんざいにしていた我等は反省すべきではなからうか。しかし、既にその反省を師には伝えられぬ。

今、師は京都市宇治の霊園に眠る。

ご冥福を祈るのみである。合掌。

編集後記

織田信長が本能寺で散ったのも、今をときめく小沢一郎も共に48歳、器の違いと云ってしまえばそれまでだが、同年にして何たるこの違い。しかし泉陵卒業30年目の我々仲間を見渡せば、多少の人格と運、不運の差で財産形成に差が出つつあるも、それもチョコチョコボ。皆「それなり」に頑張って平々凡々、まずはめでたかりしか。

会報の編集を託され作業にとりかかったら悪い予感の中、四月に転勤命令、そんななか、原稿依頼に即応していただきました恩師の先生方、御多忙の折、本当にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。又実行委員各位にもご迷惑をおかけしました。ご協力感謝致します。

(市川)

訪いくる人に最上の時を……、
出逢い そしてもてなしのこころ…。

第24回 松本県ヶ丘高等学校東京同窓会
実行委員会 担当東京サブロク会

小林 勁、平林 隆、横山 正、塚田 雅明
田尻 章、市川 弘、木幡 昌三

21世紀を見つめて新しい生活づくり
街づくりに挑戦しております。

M&K 都市空間のパイオニア エム・ケー株式会社

東京都日野市高幡15-2 TEL 0425(94)1771

代表取締役 小林 勁 (高13回)

東京サブロク会幹事